



議員 櫻田基介 新代会

新型コロナウイルス感染症対策について

問 市内こども園や学校等の職員へのワクチン接種の実施状況について伺います。

答 市長 市内の小中学校、高校、こども園や保育園などに勤務する教職員や保育士に希望調査を行い、ワクチン接種を希望する281人に対し、夏休み期間から、随時接種を行っています。

問 妊婦へのワクチン接種の実施状況について伺います。

答 保健福祉部長 8月17日の柏市での新生児死亡事例を受け、市では、88人の妊婦に対し、8月20日付けで個別通知を行い、ワクチン接種を希望する妊婦及び同世帯の家族を対象に、8月31日から接種を開始しています。

個別通知の結果、妊婦62人とその同世帯の家族を合わせて、110人の方が接種を希望しているところです。

今後は、妊婦の皆様が安心して出産を迎えられるよう、母子健康手帳交付時にワクチン接種について説明していきます。

問 若年層及び小中学生へのワクチン接種時期及び接種場所について伺います。

答 保健福祉部長 小中学生を含む10代の方は、9月中旬からの接種開始を予定しており、接種場所は、他の年代の方と同様、さんむ医療センターおよびかかりつけ医の個別医療機関となります。

問 現在申請が可能な、新型コロナウイルス感染症関連の中小企業等に対する経済対策として実施されている補助金等支援事業について伺います。

答 産業振興部長 国では、緊急事態措置等による外出自粛等の影響を受け、売上げが50%以上減少している事業者を対象とする「月次支援金」があります。

県では、飲食店等に対する時短営業等の協力要請に応じた事業者を対象とする「感染拡大防止対策協力金」と、売上げが30%以上減少している飲食店等以外の事業者を対象とする「中小企業等事業継続支援金」があります。

市では、緊急事態宣言の発令に伴う夏季観光への影響を考慮して、市内で事業を営む観光関連事業者を対象とする「観光関連事業者等支援金」があり、

8月24日から受付を開始しています。

また、県実施の「中小企業等事業継続支援金」の支給決定者を対象とする同支援金を、本市独自で10万円上乘せ支援として、今後実施したいと考えています。

そのほか、移動販売設備導入費補助、いわゆるキッチンカー購入補助[※]については、昨年度同様、補助対象経費の2分の1以内、上限100万円とする支援の実施を考えています。
※現在は受付を終了しています。

さんむ医療センターについて

問 さんむ医療センターの建替への進捗状況について伺います。

答 保健福祉部長 令和6年5月の開院に向け、現在、設計業務等が順調に進んでいます。

問 地権者や周辺住民への説明会の実施について伺います。

答 保健福祉部長 7月18日に土地所有者等を対象に説明会を実施し、12人の参加がありました。今後は、実施設計終了後に、施工業者による説明会を実施する予定です。

小松地先市有地の活用について

問 日本大学から寄附を受けた土地を利用した新設道路の整備について進捗状況を伺います。

答 建設環境部長 主要地方道飯

岡一宮線の小松地先、緑海橋付近の市道緑海239号線ですが、本年6月から用地交渉を開始し、本年度の工事区間の用地を確保しています。残りの区間については、継続して用地交渉中です。

また、工事区間の一部で保安林指定されていた箇所については、千葉県森林課で保安林解除が完了しています。

なお、工事の請負契約は、本年度末を工期として8月に締結しています。

問 小松地先の旧日本大学所有地の土地の概要について伺います。

答 都市整備課長 平成26年に日本大学から寄附を受けた約3ヘクタールの土地であり、現状は、ほぼ原野です。

問 旧日本大学所有地の利活用計画について伺います。

答 都市整備課長 市道緑海239号線の新設に伴い、令和2年度に測量等の現況調査により課題整理を行いました。その結果、当該土地面積の約半数を保安林等が占めており、開発行為に際し、植林等の許可要件を満たすことが厳しいこと、また、開発行為に多額の工事費用がかかることが明らかとなり、活用が困難な状況です。

現時点では、土地活用について具体的なニーズがないことから、道路新設工事が完成するまでの当面の間は、保安林等の規制下における土地活用の検討に努めたいと考えます。



松尾駅南側の開発について

問 合併前の旧松尾町とJR千葉支社との間で、JR松尾駅の駅舎改築と駅南北をつなぐ自由通路の整備に向けた協議があったかと思えます。その後、相当年数が経過していますが、実現が可能なか市長に伺います。

答 また、実現が難しいようであれば、南側にIC専用改札の導入を進め、利便性の向上を図ることができないか併せて伺います。

答 市長 町村合併後も、旧松尾町からの引継事項として、駅舎改築と自由通路の整備についてJR千葉支社と協議を進めてきました。具体的な橋上駅のプランなども検討していましたが、工事物価の高騰や、松尾駅周辺排水対策工事を優先して実施している状況から整備の実施には至っていません。駅舎の橋上化や自由通路を整備していくには、巨額の事業費を要することが想

定されますので、限られた予算の中では厳しい状況にあります。

このようなことから、本年3月に、松尾駅南側改札口の開設について、JR千葉支社へ協力を要望してきました。今後、引き続き協議を進めていきたいと考えています。

問 松尾駅南側に改札口が設置された場合、既存のシャトルバスロータリーや駐車場に加え、駅南口利用者の駐車場も必要になるかと思われませんが、その場合の松尾駅南側の整備について伺います。

答 総合政策部長 松尾駅南側には、空港シャトルバス用のロータリースペースと当該バス利用者用の無料駐車場を設けていますが、改札口が設置された場合には、利用者の増加も予想されるため、本来の目的である空港シャトルバス利用者が駐車できなくなること

も懸念されます。
答 市長 松尾駅南側改札口が設置された場合は、空港シャトルバスロータリーや駐車場について、しっかりと整備したいと思っております。



JR松尾駅南側の遠景



農政について

問 本年5月12日に農林水産省において策定された「みどりの食料システム戦略」に対する市の考えをお聞かせください。

答 市長 「みどりの食料システム戦略」は、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現させるため、中長期的な観点から、戦略的に取り組む政策方針とされています。2050年までに目指す姿が具体的に示されており、30年後の農業の方向性を見据えた、長期的かつ大胆な戦略となっています。

この中にあります温室効果ガス削減等の取組を進めることは、市が進めています。ゼロカーボンシティと重なるものであり、積極的に取り組む必要があると考えています。

また、有機農法の推進も化石燃料などを利用した化学肥料からの脱却とい

う点では、持続可能な農業生産体制を構築するうえで必要と考えています。これらの実現のためには、生産環境に適した新たな生産技術や品種改良などの技術革新が必要とも考えます。

こうした技術革新が早く進み、安全で生産性の高い農林漁業が行えるよう、国の動向を注視しながら、市で行う取組について、しっかりと検討していきたいと思えます。

問 「みどりの食料システム戦略」の中で、成長や材質の優れた精英樹（優れた木）同士を交配させた次世代の樹木、エリートツリー活用の記事があります。このような樹種の導入について、市の見解を伺います。

答 産業振興部長 エリートツリーについては、これから開発されるものなので、地域の土壌や気候に適合するのかなどが、まだわかっていません。樹種の状況や林業者等の意見を聞きながら、今後検討していきたいと考えています。

